



広報

なかとんべ

No.668

2015. 7 July

平成 27 年度町政執行方針	2
まちの話題	6
ALTの徒然日記	9
インフォメーション	10
国民健康保険からのお知らせ	12
図書室だより	13
戸籍だより・編集後記など	14

登山マラソン

駆けあがった 703m
利尻富士を望む山頂で
弾ける笑顔



平成27年度町政執行方針

中頓別町長

小林 生吉



6月24日、第2回定例議会にて、小林町長から平成27年度町政執行方針が表明されました。

はじめに

平成27年度の町政執行に対する私の所信について申し上げます、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、本年4月の町長選挙に立候補し、皆様の大なるお力添えと、ご支援により、当選の栄に浴し、町政をお預かりすることになりました。その使命と責任の負託に応えるべく、全力を尽くす所存であります。まず、これから4年間町政を担う上での所信の一端

を述べたいと思います。

私は、先の選挙を通して、大切な「3つのポイント」を訴えてきました。一つ目は「町民の悩み、課題、困難に寄り添いそれに共感できる『やさしさ』をまちづくりの心とする」、二つ目は「公正・公平な判断」、三つ目は「政策を実現する実行力」です。これからもこの基本姿勢を堅持し、町政に携わっていききたいと考えております。

具体的に政策を進めていく上では、第7期総合計画を枠組みとし、重点化すべき3つの柱として「子ども・子育て支援」「福祉のまちづくり」「地域経済再生」に取り組んでまいります。

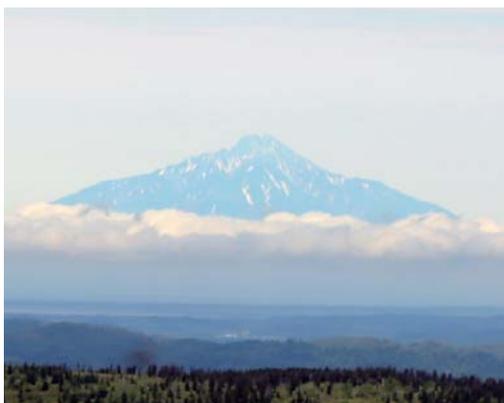
私たちが暮らす中頓別は、

表紙のウラ話

6月21日、敏音知岳の山開きが開催されました。当日は、暖かくも爽やかな風が吹き抜け、空気も澄みきった清々しい登山日和となりました。

木々に囲まれた登山道は、ひんやりとした空気が行き渡り、神秘的な雰囲気でした。

山頂からは、空に浮かべた利尻富士をはっきりと眺めることができました。



第7期総合計画



自然環境に恵まれた「温もりあふれるふるさと」であります。人口減少問題という厳しい課題に立ち向かう今、町民のみなさんと心をひとつにまちづくりを進めてまいりますので、さらなる町政へのご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。さて、安倍内閣の経済政策、いわゆるアベノミクスの推進により、全国的には有効求人倍率が22年ぶりの高水準となり、大企業の経常利益は過去最高水準になるなど、東京を中心に経済の好循環の環は広がりをみせております。

一方、地方では円安や消費税増税などが影響し、景気の回復は程遠い状況にあり、大都市圏と地方の経済成長に大きな格差が生じつつあります。

現政権の最重要課題である地方創生は、経済規模の縮小や住民の生活水準の低

下など、人口減少社会の抱える諸課題の克服が鍵であり、地方の自律的な発展と持続可能な社会の形成が求められております。

北海道全体の傾向として、本町を含むほとんどの市町村で人口減少傾向が続いていることから、国家的な取り組みとなつているこの機会に、中頓別町版「地方総合戦略」と「第7期総合計画」の連動を図り、諸施策を着実に実行する中で、自治体消滅への道を克服してまいりたいと存じます。

あわせて、行財政運営についても不断の改革を怠ることなく、住民参加と情報公開を基本に、職員意識改革にも積極的に取り組んでまいります。

次ページより、本年度実施しようとする重点的な施策について概要をまとめましたのでご一読ください。

1 環境の保全と創造

〈環境にやさしいくらしづくり〉

- ・ 河川環境の保全
- ・ 省エネ対策・環境衛生対策
- ・ 「新エネルギー」導入のあり方と省エネ対策
- ・ ごみの減量化とリサイクルの推進
- ・ 銃器免許取得希望者に対する補助

2 産業振興・地域経済の活性化



▼神崎牧場入牧の様子

〈農林業を基本に据えた活力ある産業の創造〉

- ・ 酪農家青年層の確保・育成
- ・ 第三者継承事業を軸とした新規参入希望者の誘致
- ・ 農家子弟の後継者や地域農業の担い手の育成・確保
- ・ 農業者の労働量の軽減と経営安定化
- ・ 計画的な林道や作業道の整備
- ・ 森林作業員の就労の通年化を支援
- ・ 「プレミアム商品券発行」事業
- ・ 後継者対策としての第三者継承への対応
- ・ 中小企業振興資金融資事業等の継続
- ・ 「町観光振興計画（仮称）」の策定について検討
- ・ 敏音知地区観光関連施設の有効な運営の在り方
- ・ 「移住定住」促進事業推進

〈安全な町民生活を支える体制の確立〉

- ・ 交通安全運動・防犯活動の啓発
- ・ 火災発生の未然防止、防火意識の高揚と予防啓発活動
- ・ 救急隊員の資格者を養成
- ・ 拡大処置特定2行為資格者の養成
- ・ 消防救急デジタル無線整備の完了
- ・ 敏音知地区に配備されている小型動力消防ポンプの更新

3 保健医療福祉の充実と安心安全な暮らしづくり

〈誰もが健康で安心して暮らすことができる保健・医療・福祉の充実〉

- ・ 高齢者、障がい者の権利擁護推進体制の整備
- ・ 高齢者等の除雪サービスの「あらたなくみ」の検討

- ・相談支援事業所「すまいる」との連携によるサービス
 - ・介護保険の機能強化
 - ・特別養護老人ホーム増改修事業への支援
 - ・第2次「健康なかとんべつ21」の策定
 - ・町民の健康づくり活動の支援
 - ・がん検診推進
 - ・被保険者の健康増進、糖尿病等の発症や重症化予防
 - ・ジェネリック医薬品の普及啓発
 - ・常勤医師2名体制の確立
 - ・看護師住宅の建設や老朽化した医療機器等の更新
 - ・訪問看護の実施
 - ・院内リハビリ、訪問リハビリなどの医療サービスの提供
- 〈快適に暮らすことができる生活環境の整備〉
- ・地域生活交通のあり方のとりまとめ
 - ・老朽化した町道、橋梁、町営住宅、水道施設、賃貸住宅の修繕

4 子育て支援、教育の充実

- 〈健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり〉
- ・ 地方版「子ども・子育て支援事業計画」の策定
 - ・ 子ども医療費無料化のしくみを償還払から現物給付へ変更
 - ・ 不妊治療費助成事業の開始
 - ・ 中頓別中学校校舎の耐力度調査の実施、改築の検討
- 〈生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進〉
- ・ 自然や文化、伝統など、地域の特色を生かした学びの場、主体的に行うサークル活動、子どもから高齢者までスポーツを通じた心身の健康づくり、彩りある地域社会を目指す芸術・文化活

動など、生涯学習機会の創出



▼育児サークルひよっこクラブの様子

5 町民主役の町政運営

- 〈情報の共有化と町民参加によるまちづくりの推進〉
- ・ ホームページや広報紙の充実
 - ・ 町長と町民の直接対話の推進
 - ・ 小頓別地区へ集落支援員の配置
- 〈創造的な自治体改革の推進〉
- ・ 公共施設等総合管理計画に伴う固定資産台帳の整備
 - ・ マイナンバー制度の周知
 - ・ 職員人事評価制度の構築

緑の羽根募金



公園への植樹など町のさまざまな「緑づくり」に活用するため、4/18～5/31の期間、中頓別小学校、中頓別中学校では募金運動を行いました。6月4日には中学校生徒、6月8日には小学校児童が、集まった募金を小林生吉町長へ手渡しました。

中学校募金金額 10,077円

小学校募金金額 4,000円



日本最北の鍾乳洞

中頓別鍾乳洞まつり



6月7日、鍾乳洞自然ふれあい公園で、本年度最初となる町内のまつりが開催されました。

鍾乳洞自然ふれあい公園では、一昨年、植えかえしたシバザクラも綺麗に咲き、町内外から訪れた人達は、見ごろを迎えたシバザクラを眺め、ジンギスカンや中

頓別名物「ばふん焼き」など味わい心と胃袋を満たされていきました。

会場では、クイズを解きながら鍾乳洞周辺を巡るウオークラリーが開催され、町内の子どもたちが挑戦していました。

照明で彩られた第一洞内にも沢山の見学者が足を運

び、幻想的な洞内を見て感嘆の声をあげていました。

子どもたちは、冒険気分です。洞内を探検し、「また来ようね」と話す家族連れが多く見受けられました。

お昼過ぎにはジンギスカンが完売するほどの大盛況で、にぎやかな楽しい一日となりました。

病院消防訓練

6月9日、町国保病院では、ボイラー室から出火したとの想定で消防訓練が行われました。

ストレッチャーに入院患者をのせて搬送にあたる職員は、声を掛け合いながらすばやく避難を完了。訓練後、消防支署職員から「声を掛け合うことは、短時間での通報伝達・情報共有に繋がり、最小限の被害に食い止めることができる」との講評を受けました。



戦没者慰霊祭

6月9日、町民センターでは戦没者慰霊祭がしめやかに執り行われました。

戦没された54柱には、ご遺族・町内関係者らが黙祷を捧げ、追悼の念をこめ出席者一人ひとりが献花を行いました。戦後70年が過ぎますが、悲惨な戦争の惨禍が二度と起こらぬよう、後世へ語り継いでいきたいと思います。



安全意識の向上を

5月6月と事故や遭難、救助要請などが相次いで発生しました。

山や川へと入っていく際には、入念に準備の上、家族に行先や帰宅時間を知らせることを徹底し、単独行動は避けて2人以上での行動を意識しましょう。

交通事故は、自分自身で気を付けることはもちろん、いわゆる「もらい事故」にも気を付けたいところです。ドライバー同士、お互いに思いやりのある運転を心がけることが大切です。

長距離運転の際には、こまめな休憩と体調管理を意識しましょう。



▼自然学校横の校庭に降り立ったドクターヘリ

▼岩手地区付近で発生した交通事故の様子



中頓別小学校運動会

6月14日、中頓別小学校で運動会が行われました。

当日は曇り空でしたが、ちょうどいい気温で運動にはもってこいのコンディションでした。

運命のじゃんけん、二人三脚借り人リレーなど、子どもから大人まで楽しめるようなものも多く、応援合戦や鼓笛など見応えある種目もあり、にぎやかな運動会となりました。



ダリンさんの英会話教室

毎週2回、英会話指導助手のダリンさんによる英会話教室が行われています。

教室では、日常会話や発音を歌やゲームを交えて楽しく学習することができます。どなたでも気軽に参加できるので、この機会に英語力を高めてみませんか？

ダリンさんの英会話教室

毎週火曜日
19時～20時
中頓別町役場小会議室

毎週金曜日
10時30分～12時
中頓別町民センター
第1研修室



こども館運動会

6月28日、こども館で運動会が行われました。

当日は、前日まで雨模様だった影響か、風が冷たく非常に寒い日となりました。そのような中でも、子どもたちは元気いっぱい、とても楽しそうな様子でした。そういった子どもたちの様子を見て、応援に来ていた保護者や地域の方々は、暖かな眼差しで子どもたちを見守っていました。





ダリンさんの徒然日記

Aloha Nakatombetsu! One thing I like most about Japan is the preservation of traditional culture and arts. Recently, I revisited Akita International University to see the Tohoku Six-Soul Festival. I also went to the Yosakoi Soran Festival in Sapporo. I find that watching local Japanese people showcase their culture and talents is one of the best ways to study a foreign culture. Not only is it a break from the traditional textbook-style learning, but it is also fun and enjoyable!

Can you name Tohoku region's prefectural festivals? Three of them are quite famous, celebrated in Aomori, Akita, and Miyagi. The first is Aomori's Nebuta Festival. Second, is Akita's Kanto Festival. Lastly, the Tanabata Festival in Sendai city, Miyagi. Then there are Iwate - Sansa Dance Festival, Yamagata - Hanagasa Festival, and Fukushima - Waraji Festival. The Tohoku Six-Soul Festival is a festival where all six prefectures in Tohoku come together in one, and showcase their individual celebrations all in one venue. This year the festivities took place in Akita. What a deal, isn't it?! The main event is the grand parade, where each festival dance, cheer, and perform for an enthusiastic audience. There are no words to express the feelings I had at the Tohoku Six-Soul Festival. It's one of those experiences where you have to be there to feel the excitement!

At Akita International University, I joined the YA-TOSE Team. (Yosakoi is referred to as YA-TOSE in Akita dialect.) I enjoyed dancing and performing. A few weeks after my trip to Akita, I ventured down to Sapporo to cheer on some of my friends in the Yosakoi Soran Festival. I watched the teams from all over Hokkaido and Japan compete for the best performance, and I also got to dance, myself.

Attending both festivals brought back many memories from my study abroad experience at Akita International University. Living in Northern Japan, I am fortunate to be able to experience a lot of local culture not many tourists and foreigners are able to see, as it is not widely known to them. I will take all these experiences I have in Japan as a way to educate others about the real Japan, aside from the world of geisha, samurai, and anime. I have yet much more to learn! Anyways, until next time!

アロハ！中頓別の皆さん。

僕が日本について好きなことの一つは伝統的な文化と芸術を大切にしていることです。最近、大学の頃に留学していた秋田県の国際教養大学に再訪し、東北六魂祭を観に行ってきました。また、札幌のYOSAKOIソーラン祭りにも行ってきました。僕は、地方の人々の発表を観ることが、彼らの文化や才能を学ぶ最も良い方法の一つだということを見ました。それは従来の教科書で学ぶスタイルよりも良いというだけでなく、面白くて楽しいのです。

東北地方の祭りを知っていますか。三つの祭りは結構有名で、青森県と秋田県と宮城県で祝っています。最初は青森県のねぶた祭りです。次は、秋田県の竿燈祭りです。最後に、宮城県仙台市の七夕祭りです。後は岩手県の盛岡市のさんさ祭り、山形県の花笠祭り、福島県のわらじ祭りです。東北六魂祭は東北六県すべてを一県に集め、一つの祭りとして祝います。今年はこの祭りは秋田県で行われていました。お得でしょう?!メインイベントはグランドパレードでハイテンションになっている観客の前で踊ったり、掛け声をかけたり、演じたりします。言葉にできないくらいのこの気持ちを僕は表すことができません。この興奮を味わうためには、実際にその場所で経験することが一番だと思います。

国際教養大学で僕はヤートセというチームに入っていました。(“よさこい”は秋田弁でヤートセと呼びます。)僕は積極的に参加して、踊ることや演じることとても楽しんでいました。秋田の旅の2、3週間後、札幌のよさこいソーラン祭りに行き、友達を応援してきました。全道、全国から、大賞を競っている踊りを観たり、自分自身も踊ったりしました。

両方の祭りに参加して、秋田の国際教養大学に留学していた頃を思い出し、懐かしかったです。日本の北の方に住んでいて、観光客や外国人が知らない地方の文化をよく知ることが出来たり、様々な貴重な経験をすることができました。僕はとてもラッキーです。この経験から「芸者や侍や漫画やアニメの日本」ではなく、「本当の日本」を他の人々に教えたいです。でも、まだまだいろいろなことを学ばなければなりません!それでは、また今度ね!

平成 26 年度 中山間地域等直接支払交付金の取り組みについて

◇集落協定の概要

近年、担い手の高齢化や労働力の減少などによる農地の耕作放棄地が懸念されるなか、農業生産条件の不利を補うため、「中山間地域等直接支払制度事業」を実施しています。

この事業は、集落で定めた協定に基づき「生産性・収益性の向上」担い手の定着、農村環境の整備等」を集落の共通目標に掲げ、中頓別町の農業の振興につなげることを目的としています。

平成 26 年度は、労働力・機械不足の解消と作業機械の効率的な活用を進めるための自走式ハーベスターなどの導入や農道等の補修、新規就農希望者の酪農研修に対する支援などを実施してきました。



◇対象農用地の基準別面積及び交付額

町内の対象草地面積は 26,577,652 m²あり、この面積が交付金算定の対象となり 10 アール当たり 1,200 円が交付されます。

「平成 26 年度の事業費内訳及び事業実施内容」

□平成 26 年度交付金額	31,893,182 円
財源内訳	
国費	15,946,591 円
道費	7,973,295 円
町費	7,973,296 円

□交付金の目的別用途の内訳

- ・ 農業者個人の草地面積により配分 (56.3%) 17,693,441 円
- ・ 中頓別集落の共同取組活動に充当 (43.7%) 14,199,741 円

取組内容	金額
1. 集落の管理体制 ・ 集落役員への報酬、事業委託費等	722,880 円
2. 農業生産活動 (1) 農用地に関する事項 ・ 対象農地の測量経費	1,040,040 円
(2) 水路・農道等の管理 ・ 耕作道等の整備	813,440 円
(3) 多面的機能を増進する活動 ・ 農村の環境整備、景観作物の作付け等	7,172 円
3. 農業生産活動の体制整備 (1) 農業生産活動等の継続に向けた活動 ・ 農作業機械の共同化、新規就農者への支援、防疫体制整備	11,605,861 円
4. その他 ・ 事務費等	10,348 円
計	14,199,741 円

「年金情報流出」を口実にした “振り込め詐欺”や“個人情報の搾取” にご注意ください

日本年金機構

日本年金機構において、職員の端末に対する外部からのウイルスメールによる不正アクセスにより、当機構が保有している情報の一部が外部に流出したことが、5月28日に判明しました。このうち、現時点において確認されている個人情報約125万件です。

該当するお客様には、基礎年金番号を変更させていただき、万全の対処を期す方針です。そのための準備を早急に進めてまいります。

この年金情報流出事案に関して次のようなことはありません

- 日本年金機構や年金事務所からお客様に電話することはありません
基礎年金番号の変更に関するご連絡は、後日文書をお送りします
- 日本年金機構からお客様にお金を要求することは一切ありません
- 日本年金機構がお客様にATMの操作をお願いすることは一切ありません
- お客様の個人情報〈家族構成など〉を確認することはありません

ご自宅や職場などに日本年金機構や機構の職員などを名乗る電話がかかってきたら、迷わずにお電話ください。

専用電話窓口（コールセンター）0120-818211

受付時間 8:30～21:00

警察相談専用窓口 #9110 または最寄りの警察署まで



ご結婚された夫婦をお祝いします！

□概要

中頓別町では現在、いきいきふるさと推進事業を実施しており、子どもを出産された方への出生祝いや乳幼児健診の際に絵本の読み聞かせとプレゼントを行っています。そして今回、この事業の一環として、ご結婚された方へお祝いの気持ちを込めて結婚祝金を交付する事になりました。住居のお引越し、新婚旅行の費用など夫婦での新生活のためにお役立てください。

□交付金額

夫婦一組 30万円

□交付対象者

平成27年4月1日以降に婚姻の届出（戸籍法第74条の規定による）をした夫婦で、夫婦ともに、又は夫婦のいずれかが引き続き本町に居住することが明らかなもの

□受け取り方法

交付対象者には役場担当課からご案内の文書をお届けしますので内容を確認後、受け取りをされるご都合の良い日程を担当窓口までご連絡ください。希望された日に役場へお越し頂ければ、お祝金を交付いたします。（受け取りの際は印鑑をお持ちください）

詳しくは役場まちづくり推進課（6-1111）まで



データヘルス計画を策定しました ～健康格差の縮小をめざして～

データヘルス計画

データヘルス計画とは、健康・医療情報、特定健康診査の結果、レセプト等のデータを活用してP D C A サイクル（P計画、D実施 C評価 A改善）に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画です。

中頓別町国民健康保険では国民健康保険法に基づく保健事業実施指針に基づいて平成27年度から3カ年のデータヘルス計画を定めました。これにより、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進、糖尿病等の発症や重症化予防のための保健事業をすすめていきます。

中頓別の現状と課題

中頓別町は国保加入者の年齢構成が高く、国保の医療費は全道平均と比べても

高くなっています。

特定健診の結果では高血糖や高血圧の人が多く、治療中の方のメタボリックシンドローム該当者が多いのが特徴です。治療中の方、介護保険認定者の方が重症化している実態があり、重症化予防は重要な課題です。

中頓別町の高齢者の5人に1人は介護認定を受けています。介護が必要な方の有病状況は心臓病・脳卒中・高血圧などの生活習慣病、筋骨格系疾患、精神疾患いづれにおいても全道平均よりも突出しています。中でも糖尿病、脂質異常症、がんの割合は同規模市町村平均の2倍以上ありました。介護を必要とする人は多くの疾患を併せ持っていることもわかりました。介護予防の視点でも生活習慣病対策が重要であることが明らかとなつていきます。

健康格差の縮小

医療・介護および健診の分析から心臓病および脳血管疾患を予防していくことは喫緊の課題であり、最優先事項として取り組みます。また糖尿病性腎症患者が多いこと、背景にある糖尿病・高血糖の人は多いことから糖尿病性腎症による新規透析患者をつくらないことも優先的に取り組みます。

中長期的な目標の設定

健康格差を引き起こす可能性の高い疾患でもある心臓病、脳血管疾患、糖尿病性腎症を減らしていくことを目標とします。

今後も高齢化が進展すること、また年齢が高くなるほど、心臓、脳、腎臓の3つの血管も傷んでくることを考えると、医療費そのものを抑えることは困難になると予想されます。このこ

とから、医療費の伸びを抑えることを長期的な目標とします。

短期的な目標の設定

心臓病、脳血管疾患、糖尿病性腎症の血管変化における共通のリスクとなる、メタボリックシンドローム、糖尿病、高血圧、脂質異常症等を減らしていくことを短期的な目標とします。

計画の公表

データヘルス計画は中頓別町のホームページに掲載しているほか、中頓別町介護福祉センターでも閲覧できます。



「このゆびと〜まれ♪」の活動

- 6月 3日 こども館にて読み聞かせ・手あそび歌
- 6月 11日 小学校にて学級文庫の入れ替え・ディスプレイ作成
- 6月 25日 小学校にて読み聞かせ



図書室がまたよこ

今月の新刊 (6月23日現在)

中頓別ふるさと会(東京)様からの寄附金を活用し、ふるさと文庫として図書を購入しましたので、その一部を紹介します。

幼児向け
『くらべっこしましょ!』 石津ちひろ
『うそだあ!』 サトシン

1年生向け
『あげます』 浜田桂子
『はじめまして』 近藤薫美子

2年生向け
『しゅくだいさかあがり』 福田岩雄
『デテとひこうき』 中川洋典

3年生向け
『トイレをつくる 未来をつくる』 会田法行
『ライオンのひみつ』 マーガレット・ワイルド

4年生向け
『ゆいはぼくのおねえちゃん』 朝比奈蓉子
『先生、しゅくだいわすれました』 山本悦子

5年生向け
『槍ヶ岳山頂』 川端 誠
『希望の牧場』 森 絵都

6年生向け
『ネルソン・マンデラ』 ガディール・マンデラ
『ロード』 山口 理

中学生向け
『カンボジアの大地に生きて』 ミフコ・ホー
『時速47メートルの疾走』 吉野万理子

高校生向け
『ドミトリーともきんす』 高野文子

一般向け
『本屋さんのダイアナ』 柚木朝子

※ その他、多数の新作図書が入りました。どうぞ、ご来室ください。
【お願い】 図書室から借りたままになっている本はありませんか?
休館日に本を返却される方は、玄関横の返却ポストをご利用ください。

It is good that we have lived in Nakatombetsu
and we would like to live there for long.

— 住んでいてよかった これからも住んでいたい —

更衣少し気になるイタリアン 高橋 恵翠	袖通す残り香薫る衣替え 山崎 静女	湿原の空の水色衣替え 平田 栄珠	更衣服を並べて出番待ち 高橋 妙子	更衣花嫁御寮の晴れ姿 菅原 貞子	キビキビと茶髪なびかせ衣替え 東海林 海峯	更衣古い上衣を捨てられず 武田 雄峰	やまなみ吟社 六月例会
------------------------	----------------------	---------------------	----------------------	---------------------	--------------------------	-----------------------	----------------

戸籍だより

6月1日～6月30日受付分

(公開にご了承いただいた方のみ
掲載しています)

うぶごえ

字中頓別 安藤 百花 ちゃん
(徹さんの子 6月9日)

字中頓別 太田 宏一 くん
(元穂さんの子 6月22日)

おくやみ

字中頓別 佐藤 良二さん
(96歳 6月10日)

字中頓別 吉田 貞雄さん
(92歳 6月18日)

字中頓別 佐々木 一成さん
(67歳 6月19日)

字中頓別 近山 シンさん
(100歳 6月29日)

新しい地域おこし協力隊のメンバーを紹介します

中野 巧都さん
観光振興・移住促進業務
4月1日付

藤田 重昭さん
小頓別集落支援業務
6月1日付

“助っ人”目線で
なかとんを発信・支援して
いきます!!
よろしくお願いします。



人のうごき

(平成27年6月30日現在)

世帯 924(-2)
人口 1,822(-4)
男 902(-3)
女 920(-1)

()内は前月対比

※世帯数・人口・男・女には
外国人も含まれます。

編集後記

■今月号より中頓別町広報のロゴマークを変更いたしました。山間を吹き抜ける風、雪が舞う様子をイメージして作りました。先月号まで使用していたものは、2色カラーですと1999年6月号より使われてきました。新たなメディア発信を見据えて、このロゴマークを活用していきたいと思っております。
【t-singo】

訂正・お詫び

6月号に折り込みした機構組織図について一部記載漏れがありました。これの訂正と共に、7月1日付けで新たな教育長が就任することに伴い、行政機構組織図を再度発行いたします。お詫びして訂正いたします。

広報なかとんべつ 7月号 Vol. 668

【発行】 2015年7月10日

【編集】 中頓別町総務課住民グループ 〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別 172-6

TEL 01634-6-1111. FAX 01634-6-1155

HP <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>

e-mail info@town.nakatombetsu.lg.jp

【印刷】 有限会社 天北印刷工業

* この広報誌は再生紙を使用しています。